



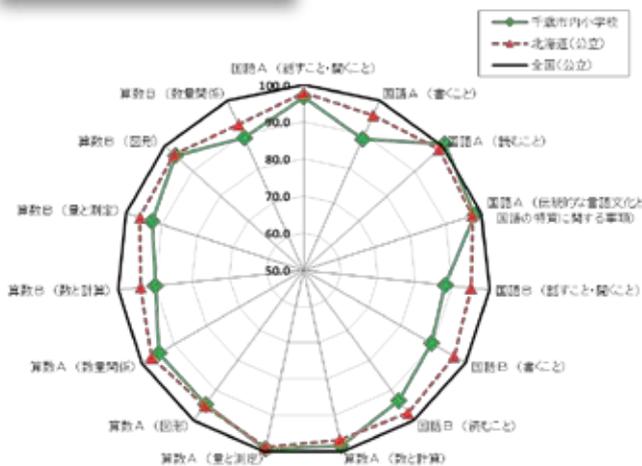
「からふる」は、千歳市の特色ある教育や学校の取組を広く紹介するために、年4回発行する季刊紙です。子どもたちや学校にはそれぞれの特徴があります。その個性がさらに色鮮やかに輝いてほしいという願いを込めて「からふる」と名づけました。

特集 平成28年度「全国学力・学習状況調査」の結果

【小学校】 教科全体

国語A・算数Bは全国との差が拡大！国語Bは全国・全道よりも低く、算数Aも全国に届かず！

平均正答率を見ると、**国語A**は全国より 2.1 ポイント低く、前年度の全国との差 1.3 ポイントから **0.8 ポイント拡大**しました。算数Aは 1.8 ポイント全国を下回りましたが、前年度より差が縮まり、その差はあと僅かです。**国語B**は全国より 5.1 ポイント下回り、前年度の全国との差は縮まっています。算数Bは全国より 4.8 ポイント下回り、前年度の差 3.2 ポイントから **1.6 ポイント広がり**ました。



※ 全国(黒)を100とした場合の正答率のチャート。千歳市(緑)が内側に行くほど全国レベルに達していないことを表しています。

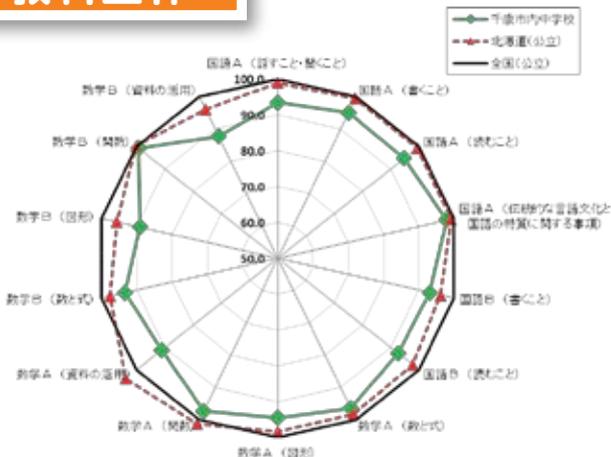
小学校教科全体		国語A (全15問)	国語B (全10問)	算数A (全16問)	算数B (全13問)
平均 正答数	千歳市	10.6問	5.3問	12.1問	5.5問
	全道	10.7問	5.6問	12.0問	5.8問
	全国	10.9問	5.8問	12.4問	6.1問
平均 正答率	千歳市	70.8%	52.7%	75.8%	42.4%
	全道	71.0%	56.0%	75.3%	44.5%
	全国	72.9%	57.8%	77.6%	47.2%

○調査対象…小学校16校 第6学年 842名(北進小学校を除く。)

【中学校】 教科全体

国語A・Bは全国との差が拡大！数学A・Bは全国に届かないものの、その差は縮まった！

平均正答率を見ると、**国語A**は全国より 2.8 ポイント低く、前年度の全国との差 0.9 ポイントから **1.9 ポイント拡大**し、**国語B**も 4.9 ポイント全国を下回り、前年度の差 1.0 ポイントから **3.9 ポイントも広がり**ました。**数学A**は 2.9 ポイント全国を下回りましたが、前年度の差 3.5 ポイントよりも縮まり、**数学B**も 2.6 ポイント全国を下回りましたが、前年度の差 4.3 ポイントから **1.7 ポイント縮まり**ました。



※ 全国(黒)を100とした場合の正答率のチャート。千歳市(緑)が内側に行くほど全国レベルに達していないことを表しています。

中学校教科全体		国語A (33問)	国語B (9問)	算数A (36問)	算数B (15問)
平均 正答数	千歳市	24.0問	5.5問	21.4問	6.2問
	全道	24.8問	5.8問	22.2問	6.5問
	全国	25.0問	6.0問	22.4問	6.6問
平均 正答率	千歳市	72.8%	61.6%	59.3%	41.5%
	全道	75.1%	65.0%	61.8%	43.3%
	全国	75.6%	66.5%	62.2%	44.1%

○調査対象…中学校8校 第3学年847名(北進中学校を除く。)

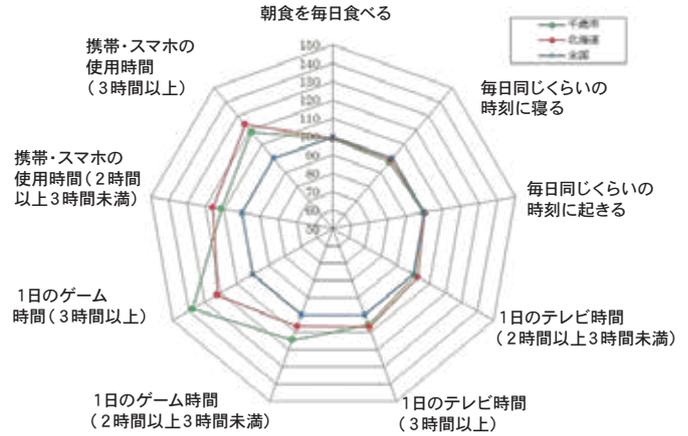
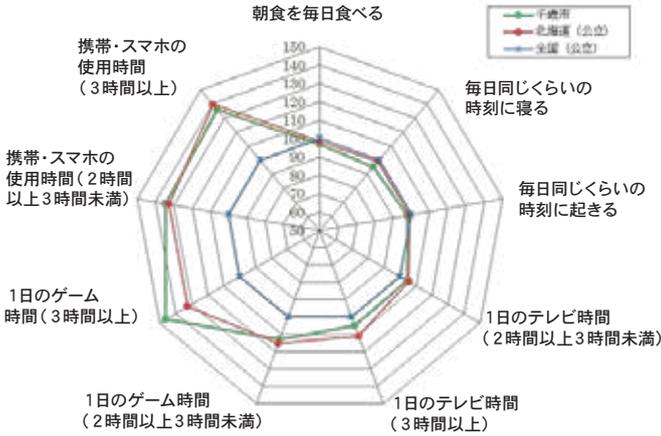
千歳市教育委員会では今回の結果を踏まえ、各学校の教務主任などで構成する学力向上実務担当者会議を開催し、現状と課題についての認識を深めるとともに、確かな学力の向上に向け「授業内容の理解定着」、「家庭学習の充実」、「習熟度別指導の充実」の市内全校統一した取組を徹底することとしています。また「生活習慣改善」に向けた家庭での取組を推進します。



【小学校】

生活習慣

【中学校】



ゲームの時間や携帯電話、スマートフォンの使用に長時間費やしている児童・生徒の割合が全国を大きく上回り、特に千歳の子どもはゲームの時間が突出!

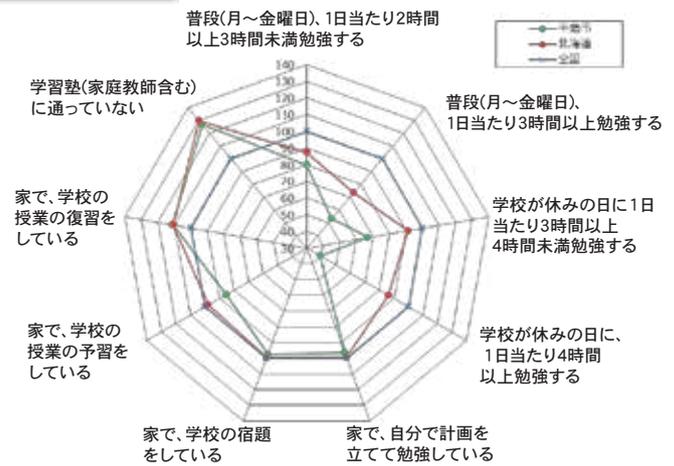
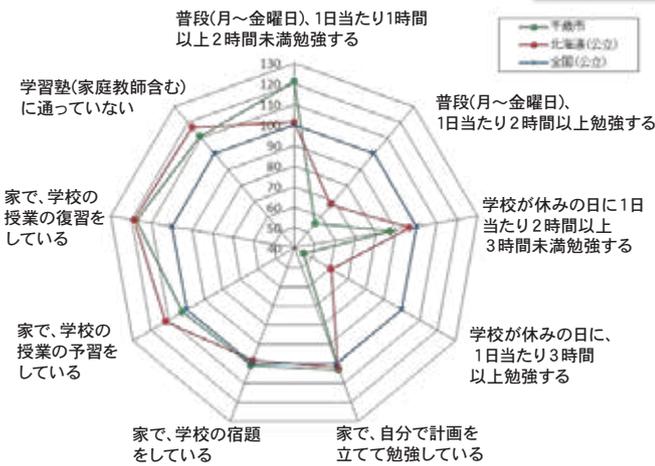
朝食の摂取や就寝時刻、起床時刻については、小学校・中学校ともに規則正しい習慣が身に付いている状況が見られますが、**小学校の「テレビの視聴時間」では、「3時間以上」と回答した児童が前年度より増加しています。「ゲームをする時間」や「携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間」についても、依然としてこれらに費やす状況に歯止めがかからず、全国を大きく上回っています。特に、「1日3時間以上ゲームをする」と回答した児童が前年度より大幅に増加しています。**

中学校では、「1日3時間以上ゲームをする」と答えた生徒は前年度までの減少傾向から一転して大幅な増加となりました。「携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間」も「3時間以上」と答えた生徒が前年度から増加しています。家庭で使用時間の目安を決めて節度ある利用を身に付けることが大きな課題であり、各家庭で生活ルールや目標を定め、児童・生徒の「生活習慣の改善」を図っていくことが必要です。

【小学校】

学習習慣

【中学校】



小学校では「1日1時間以上2時間未満勉強する児童」が全国を上回るが、中学校では1日当たりの家庭での学習時間がすべての項目で全国を下回る!

小学校では「普段1時間以上2時間未満勉強する」児童の割合が全国を上回っており、学校や家庭が取り組んできた「学年×10分+10分の家庭学習の取組」の成果と捉えることができますが、1週間の総学習時間を見ると全国を下回っています。中学校では1日当たりの家庭での学習時間がすべての項目で全国を下回っており、特に普段、休日ともに「3時間以上勉強する」生徒の割合は全国を大きく下回っています。宿題や週末課題への取組などとともに、**成就感を高める手立てを工夫し主体的に取り組む態度を育てていくことが必要です。**

学校の特色ある取組を紹介します！

東小学校

百人一首会 ～伝統文化を守る～

本校では、毎年2月に全校百人一首集会を行います。3人对3人のチームに分かれて戦います。当日は、読み手や審判として地域の「東千歳下の句カルタ会」の方々をお招きします。百人一首はスポーツ競技に近いです。集中力、団結力、スピード、粘り強さが勝負を分けます。

集会が近づくと、朝や放課後の時間を利用してどの学級でも練習が始まります。高学年が低学年の教室へ行き、技を伝授。初めての1年生もみるみる上達します。雪が積もる頃、体育館いっぱいかけ声、汗、時には木札が飛び交うことでしょう。今から冬の熱戦が楽しみです。



百人一首の様子



タブレットを活用した授業の様子



緑の羽根募金



校外清掃

北陽小学校

ICT機器の充実 ～タブレット端末の活用～

北陽小学校には、平成26年度の後半より、タブレット端末機が42台(児童用)導入されました。また、指導者用としても21台が導入されており、電子黒板やデジタル教科書、書画カメラなどとも合わせ、ICT機器が充実しています。校内には無線LANも整備され、どの場所からでもインターネットに接続して、調べ学習ができるなど、児童の活用に幅が広がっています。

右の写真は、5年生が宿泊学習で学んできたことを、タブレットを活用してまとめ、事後の報告会に向けて資料を作成している様子です。どの学年においても、それぞれの学習内容に合わせて、タブレット端末機を学習に取り入れて活用しています。

千歳中学校

ボランティア活動 ～志をもって、活発に～

千歳中学校では、生徒会が中心となって、多くのボランティア活動を行っています。5月に行われた緑の羽根募金には、206名の生徒が参加し、市内4カ所で2日間、真剣に呼びかけをしました。花壇ボランティアでは、56名の生徒が地域の方たちとともに苗植えを行い、その後の水やり、草取り、片付けまでを行います。7月には346名の生徒が参加し、学校周辺のゴミ拾いを行いました。また、町内会清掃には、合唱部15名、サッカー部45名の生徒が参加し、地域の方からも感謝の声をいただきました。どの活動にも多くの生徒が主体的に参加し、笑顔で活動報告を行っています。ふるさと千歳を大切に作る心、地域とつながり、貢献しようとする心が育っています。

ゲーム・スマホの時間が長く、家庭学習の時間が短い！

「平成28年度全国学力学習状況調査」の結果から、千歳の子どもたちは、朝食の摂取、起床・就寝時刻などでは規則正しい習慣が身についているものの、ゲームやスマートフォン等に長時間費やしている子どもの割合が依然として全国を大きく上回っています。中でも1日に3時間以上ゲームに費やす子どもの割合が高く、反対に1日に3時間以上(小学校は2時間以上)勉強する子どもの割合が、全国に比べて極端に低い状況が見られます。家庭生活のルールや目標を定めて、保護者と子どもが一体となって取り組むことが「いま必要」です。

とびっくす

第21回「ふるさとポケット」を開催しました！

9月25日にグリーンベルトで「ふるさとポケット」を開催しました。「生涯学習でまちづくり」を目的としたこのイベントには約14,000人が訪れ、県人会による各地方の郷土料理や、市内の団体による体験ブースなどを楽しんでいました。また、「ふるぽけステージ」ではフラダンスやスコップ三味線の演奏などが行われ、会場を盛り上げていました。



東千歳中学校3年 穂積 佳くんが千歳市民文化奨励賞を受賞しました！

東千歳中学校の穂積 佳くんが全国的な大会などで顕著な成績を収めた方に贈られる「千歳市民文化奨励賞」を受賞されました。穂積くんの作品「たそがれ牛舎」が昨年の第72回全国学校秀作美術展にて最高賞の文部科学大臣賞に選ばれたことによるものですが、今年度の活躍もめざましく、全国の大会などで数々の輝かしい成績を収めています。



受賞作品

千歳市総合防災訓練を実施しました！

市民の防災・減災能力の向上と地域防災・減災力の強化を図ることを目的に、9月10日に防災学習交流センターで千歳市防災訓練が行われました。

防災の森会場で行われた児童生徒を対象とした体験型防災訓練では、火おこし、簡易浄水、炊出、ロープワーク、土のう作成、テント設営、浮環を使った救出等の訓練に多くの児童生徒が真剣に取り組んでいました。



小中学校の特別教室等にICT機器を整備しました！

千歳市では児童生徒の理解や思考を深めるため、平成25年度から「電子黒板・実物投影機・ブルーレイレコーダー」のICT機器の整備を進めており、今年度は少人数指導用教室や特別支援学級に整備しました。

教科書を拡大したり、動画や画像データを表示できて、授業の様々な場面で活用されています。当該機器は、「特定防衛施設周辺整備調整交付金（防衛省補助）」を活用して整備しました。



千歳市と指宿市の小学生が交流をしました！

8月5日から8日まで千歳市の小学6年生15名が姉妹都市の鹿児島県指宿市を訪問しました。姉妹都市が締結された翌年から始まった両市の交流事業は今回で22回目を迎えました。指宿市では、マリンスポーツやそうめん流しを体験したほか、ホームステイをとおして指宿市の子どもたちと交流を深めました。

12月には指宿市のみなさんが千歳市を訪れ、スキー体験などを行う予定です。



北栄小学校 ～我が校の図書館～

北栄小学校の図書委員会では、図書委員会の児童が週に2回来校する学校司書の方と一緒に委員会活動を行っています。今までに児童による読みかせや、本の紹介など様々な活動をしてきました。今回紹介するのは、図書室スタンプラリーの取組です。図書館へ本を借りに来た時にスタンプを押し、5個集まったら図書委員手作りのしおりと交換できます。

この日はしおりやスタンプカード作りを行いました。図書室へ足を運ぶ児童が増えるように、アイディアを出しながら作業に取り組みました。



青葉中学校 ～わたしたちの単P活動～

青葉中学校PTAは子どもたちとの関わりを大切に活動を進めています。広報委員会では、生徒の活動の様子を広報誌「AOBA」に編集し配布しています。バザー、学年委員会では協力して文化祭におけるバザーを実施しています。同時に、おやじの会では焼き鳥を焼いて販売し、収益金を部活動に活用しています。また、おやじの会では日の入りが早くなる冬に学校が明るくなるよう、生徒玄関にイルミネーションを設置しています。休日に行うミニバレーボール大会実施後、カウントダウンをして点灯式を行い、大変盛り上がりします。



生徒玄関のイルミネーション

編集・発行 千歳市教育委員会（教育委員会庁舎2階 教育部 企画総務課）

■住所：〒066-8686 千歳市東雲町2丁目34番地

■電話：24-0819（直通）

■FAX：27-3743

■e-mail：kyoikukikaku@city.chitose.hokkaido.jp

■URL：http://www.city.chitose.hokkaido.jp/